

こんなときは「成年後見制度」の利用を考えましょう

岡介護高齢課地域包括支援センター（☎75－8937）



成年後見制度とは

認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、お金の使い方や書類の手続き、福祉サービスなどの契約を一人で考えて決めることに不安や心配のある人へ、本人の意思を尊重しながら、いろいろな契約や手続きをサポートする制度です。

次のような場合、成年後見制度を利用してみませんか？

- ・財産管理や契約手続きに困難を感じたとき
- ・本人による金銭管理が難しくなってきたとき
- ・キャッシュカード、銀行印、通帳の管理が難しくなった
- ・必要な支払いを忘れるようになった

こんなサポートが受けられます

成年後見人などがお金の出し入れと一緒に考え、支払いを代わりにしてくれます。

- ・詐欺被害に遭った
- ・よく分からないまま高額な契約を結びそうになった

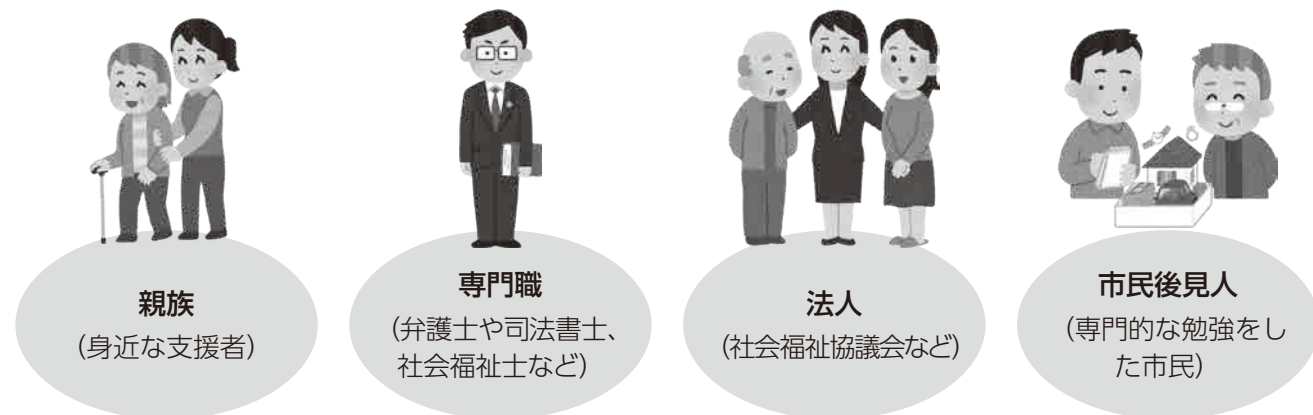
成年後見人などが分かりやすく説明してくれたり、必要のない高額な契約を結んでしまった場合は契約を取り消してくれます。

- ・自分たちに何かあったら障がいのある子どもの暮らしが心配
- ・身寄りがなく一人暮らしで認知症などの病気になった時が心配

成年後見人などが生活していく中で、お金の管理や暮らしに必要な契約と一緒に考え、必要な支援をしてくれます。

誰がサポートしてくれるの？

支援してくれる人を「成年後見人」などといいます。本人の身体の様子や暮らし方などを確認して、家庭裁判所が決めます。



ただし、現在の成年後見制度は

- ・利用開始までに数カ月かかります
- ・原則として一度利用すると途中でやめることができません
- ・希望した人が成年後見人などに選ばれない可能性があります

成年後見制度を利用する適切なタイミングは事例ごとに異なります。事前に、下記の窓口へ相談してください。

- ・介護高齢課地域包括支援センター（☎75－8937）
- ・福祉課障がい者基幹相談支援センター（☎75－5830）
- ・社会福祉協議会生活支援課（☎62－7756）

歯の健康シリーズ② 若い世代からの歯周病予防

岡保健医療課健康サポート室（☎53－3364）

「歯周病はシニア世代の病気」と思う方も多いと思いますが、その認識は、もはや過去のものとなりつつあります。実は、20代、30代そして40代の若い世代でも歯周病は急増しています。特に、現代社会における生活習慣の変化や、ストレス社会を背景に、若い世代の歯周病リスクは年々高まっています。

1 若い世代の歯周病の特徴と原因

若い世代の歯周病の最大の特徴は、自覚症状が少ないにもかかわらず進行が早いことです。また、忙しい毎日の中で歯磨き時間が不足しがちなことも、要因の一つです。

2 歯周病のサイン・症状

早期発見のためには、些細な変化に気づくことが重要です。特に注意が必要なのは、歯磨き時の出血や気になる口臭です。また、歯ぐきが赤く腫れている、歯と歯の間に食べ物が詰まりやすいといった症状も歯周病のサインとされます。これらの症状は、放置すると急速に悪化する可能性があります。

3 予防と対策

予防には、正しい生活習慣の確立が不可欠です。1日2～3回の丁寧な歯磨きはもちろんのこと、デンタルフロスや歯間ブラシなどの補助的清掃器具の使用も効果的です。さらに、十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけることで、お口の健康だけでなく、全身の健康維持にもつながります。

4 まとめ

歯周病は、全身の健康にも大きく影響を及ぼします。糖尿病の悪化や心臓病のリスク上昇、早産（低体重児出産）のリスクそしてアルツハイマー型認知症の悪化などさまざまな疾患と関連があるとされています。早期発見、早期治療が将来の歯の健康を左右します。定期的な健診で「健口」を保ちましょう。

市の現状

20代～40代は、歯肉に炎症所見を有する人の割合が増加傾向にあり、補助的清掃用具の使用率が低い状況です（表1・2）。

今年度の成人歯科健診対象者（20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳になる人）には、7月に受診券を送付しています。ぜひ、受診してください。

表1 歯肉に炎症所見を有する人の割合（％）

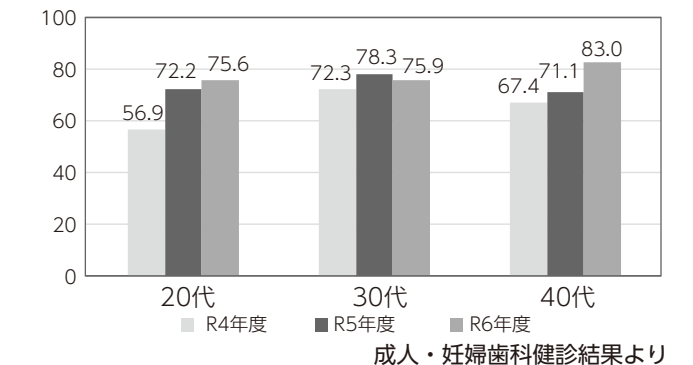
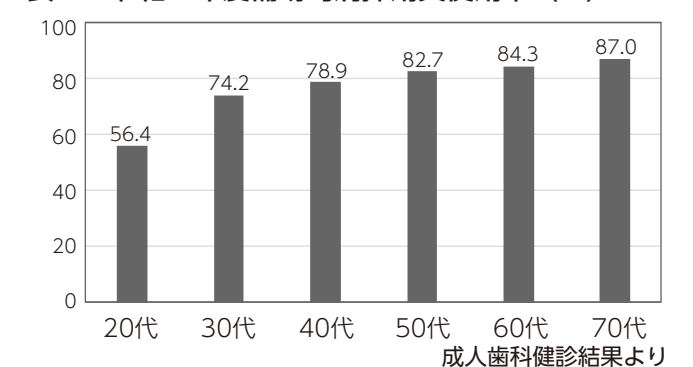


表2 令和6年度補助的清掃用具使用率（％）



村上市岩船郡健口フェア

と き 11月9日（日）午前10時～午後3時

ところ 教育情報センター

- 内 容
- ・無料歯科相談
 - ・フッ化物塗布
 - ・在宅歯科医療連携室のPR
 - ・お子さまの図画展示会
 - ・歯磨きグッズのプレゼント

